



# 東小だより

矢中町立矢中東小学校

令和5年8月25日

第9号

## 2学期が始まりました

8月23日（水）、子どもたちは元気に登校し、2学期が始まりました。まだまだ猛暑が続いており、例年になく暑さの中での始まりとなりましたが、活気ある学校、笑顔輝く学校をめざし、職員一同心を合わせ、全力でがんばってまいります。子どもたちの学習活動のため、保護者や地域の皆様のお力をお借りすることも多いと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

始業式で子どもたちに、2学期は「やるっ!」を合い言葉にしてがんばろうと話しました。

子どもたちが様々な活動や学習、行事等に自分から取り組み、失敗してもそこから多くのことを学びながら、前向きな気持ちで進んでいく学校をイメージしたものです。

そして、活動や行動するときには「～のため」を大切にしてほしいとも話しました。だれのため、何のために取り組むのかを考え、行動や活動の目的を明確にすることによって、子どもたちのやる気を引き出すとともに、自分のよさ、友達のよさに気づかせていきたいと思います。

始業式では児童会執行部の奥村杏貴さん（6年）が、2学期にがんばりたいことを発表しました。

2学期は、1年間の中で一番長く、それぞれの学年でいろいろな行事があります。例えば5、6年生は9月に陸上記録会があります。私は、去年初めてハードル競技にチャレンジしました。はじめは難しく、少し怖かったけれど、練習していくうちにどんどん記録がのび挑戦してよかったと思っています。今年は6年生として挑戦する最後の陸上記録会。自分のことだけではなく、昨年度の6年生のように、5年生が「楽しい」と思えるような練習にしていきたいです。

10月には全学年が取り組む学習発表会があります。学習発表会は、学校生活や学習の成長をお家の果をお家の方に見てもらう場です。執行部では、スローガン作りという大切な仕事をします。私も執行部の一員として、アイデアを自ら考え、自信をもって発言したいです。みなさんも自分の役割をしっかりと果たし、一生懸命練習し、自信をもって本番を迎えられるようがんばりましょう。

最後に、今年の児童会スローガンは、「十人十色～一人一人が色とりどりに輝け～」です。それを達成するために、4つの重点があります。特に、スマイルあいさつとろう下歩行は、2学期の課題です。執行部でも力を入れて取組を考えていくので、全校のみんなもがんばっていきましょう。また、仲良し活動は、9月から行う予定です。全校のみんなが今まで以上に仲良くなれるような取組にしたいと思うので、楽しみにしててください。



杏貴さんの言うように、陸上記録会や学習発表会等の行事、学習の充実、2学期にはやるべきことがたくさんあります。そしてその取組をより意味の深いものにするには、「やらされる」のではなく、自分で何を「やるっ!」のか考え、取り組むことが大切です。児童会のスローガンや取組は、まさしくそのモデルです。子どもたち一人一人がそれぞれのよさで輝き、その輝きを認め合う学校を子どもたちとめざし、2学期もがんばります。

よろしくお願いいたします。